

ゆかい通信

第四号 2026年2月



楽しいメロディー会さんが
ヒバリゆかいを訪問！

法人ロゴマークを
リニューアルしました



友志会が社会医療法人へと法人格を移行したことを機に、ロゴをリニューアルしました。グループが友志会、延寿会、駿仁会の3法人からなり、医療、介護、子育ての事業に取り組んでいることを表しています。

安心と安全を第一に走る

送迎ドライバーの取り組み

友志会グループには通所サービスのご利用者を送迎するため、100台近くの送迎車と、150人を超える送迎ドライバーが在籍しています。

ICTの活用

友志会グループのデイケア施設では、送迎支援システム「福祉ムーバー」を順次導入いたします。



当法人のデイケア施設では、多くのご利用者が登録されており、ドライバーがすべてのご自宅、さらには乗降車位置や、停車する車体の角度やドアの方向などを正確に把握し、都度最適なルートを判断することは容易ではありませんでした。

そこで、昨年12月より福祉ムーバーを先行導入したぶどうの舎では、送迎車ごとに乗車されるご利用者の乗降車位置までの効率的なルート案内や、走行位置の確認、ご利用者ごとのご希望事項などの共有が可能となりました。新人のドライバーもベテランと同じ送迎サービスを提供できるようになるほか、心に余裕を持った安全な走行につ

ながっています。

さらに今後は、ご利用者・ご家族も同アプリを取得いただくことで、ご利用時に毎回お電話で実施している送迎時刻の連絡や、無事送迎車に乗降いただけたかの可否などがアプリ上で確認いただけるようになる見込みです。

ドライバーの教育体制

新人のドライバーには約1か月間、専任の先輩職員が付き、送迎業務に関する指導を行っています。運転技術に加え、歩行介助の基本や車いす利用時の配慮など、介護施設ならではの心得を身につけます。

また、月に一度ドライバー会議を開催し、事故の共有や施設運営に関する情報共有を行い、安全意識の向上に努めています。

安全運転講習

安全運転技術と事故防止への意識向上を目的に、年に一度、外部講師を招いた安全運転講習を実施しています。

実技と座学を通して、基本的な運転操作や事故防止のポイントを再確認しています。



このように、当法人では設備整備と人材育成の両面から、安全で質の高い送迎体制の構築に取り組んでいます。これからも、ご利用者に安心して施設をご利用いただけるよう、努めてまいります。



ケアプランデータ連携 システムを導入します



ケアプランデータ連携システム

ケアプランのやりとりを、
紙からデジタルへ。

友志会グループでは、情報連携の精度向上を目的に、2月より「ケアプランデータ連携システム」を順次導入いたします。（デイケアだけではなく居宅介護支援事業所・居宅サービスも導入）本システムの活用により、居宅サービスと居宅介護支援事業所の計画情報の電子的共有が可能となります。

ご利用者の状態変化に対する対応が迅速化され計画の修正がスムーズになることで、多職種協働による支援プロセスの一貫性が高まり、ご利用者の機能維持・向上に向けた介入の質が高まることが期待されます。

自立に向けて多職種一丸！ 友志会デイケア施設のリハビリ会議

友志会グループのデイケア施設では、ご利用者一人ひとりの身体状況や在宅生活の様子を施設内外の多職種で共有し、より適切な支援、卒業につなげるために「リハビリテーション会議」を開催しています。

会議は、利用開始から半年間は毎月、その後は3か月に1回のペースで定期的の実施しており、医師、リハビリスタッフ、担当ケアマネジャー、ご利用者ご本人をはじめ、必要に応じてご家族が参加します。

この会議では、お身体の変化やリハビリの進捗を確認し、ご利用者のお気持ちもお伺いしながら、目標やリハビリ内容の見直しを行うほか、ご利用者を取り巻く人々のケアの方向性を合致させるための場になっています。

大きな怪我や病気のあとや、高齢になるにつれ、つい周囲は必要以上の心配をしてしまい、自立への一歩が遠のいてしまうことがあります。そのため、ご利用者のその時々の方の状況を正確に把握し、多職種がそれぞれの意見を出し合いながら、ケアの見直しや自立を促す適切な時期を全員で確認、共有することが重要となります。



特にデイケアでは、生活の自立だけでなく趣味や仕事などの「自分らしい活動」にも目を向けた、生活行為リハビリなどを通じて支援をすることで、より豊かな毎日を取り戻すことを大切にしています。そのために、多職種の密な連携により、ご利用者のライフスタイルや思いに寄り添いながら、できることを1つずつ増やしていくことで、ご利用者ご本人はもちろん、ご家族も安心して、デイケアを前向きにご卒業いただけることを目指しています。

ゆかい日記

